

平成 2 6 年 度

審 査 意 見 書

石 卷 市 駐 車 場 事 業 特 別 会 計 歳 入 歳 出 決 算

石 卷 市 監 査 委 員

石 監 第 1 7 号

平成 2 6 年 1 1 月 2 5 日

石巻市長 亀 山 紘 殿

石巻市監査委員 柴 山 耕 一

石巻市監査委員 矢 川 昌 宏

石巻市監査委員 伊 藤 啓 二

決算審査意見の提出について

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 3 3 条第 2 項の規定により審査に付された平成 2 6 年度石巻市駐車場事業特別会計歳入歳出決算を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

	ページ
平成26年度石巻市駐車場事業特別会計歳入歳出決算審査意見	1
第1 審査の対象	1
第2 審査の期間	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
1 業務実績の状況	2
2 決算収支の状況	2
ア 歳 入	3
イ 歳 出	4
ウ 事業債の状況	4
3 実質収支に関する調書	5
む す び	6

凡 例

- 1 本文及び各表中、千円単位で表示している数字は、実質収支に関する調書の数字を用いた。
- 2 比率は、原則として表中の数値により算出（表示数値未満を四捨五入）して表示した。
なお、構成比率は、原則として表中の数値により算出し、表示数値未満を四捨五入して表示しているため、内訳の合計数が100とならない場合がある。
- 3 「収入率」は調定額に対する収入済額の割合、「執行率」は予算現額に対する収入済額、支出済額の割合である。
- 4 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
「0」、「0.0」----- 該当数値はあるが（0を含む。）、単位未満のもの
「△」----- 減数又は負数
「-」----- 該当数値がないもの、算出不能又は数値として表示することが不適当なもの

平成26年度石巻市駐車場事業特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

平成26年度 石巻市駐車場事業特別会計歳入歳出決算
上記会計の証書類、歳入歳出決算事項別明細書及び実質収支に関する調書

第2 審査の期間

平成26年10月16日から同年11月22日まで

第3 審査の方法

決算の審査に当たっては、石巻市長から審査に付された平成26年度石巻市駐車場事業特別会計歳入歳出決算、歳入歳出決算事項別明細書及び実質収支に関する調書について、関係諸帳簿及び証拠書類と照合点検を行い、必要に応じ関係課からの説明を聴取し、決算の正確性、予算執行の適確性及び収入支出の合法性などに主眼をおいて実施した。

第4 審査の結果

審査に付された平成26年度石巻市駐車場事業特別会計歳入歳出決算、歳入歳出決算事項別明細書及び実質収支に関する調書については、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数は正確であり、決算の内容、予算執行状況についても、適正であると認めた。

審査結果の概要は、次に記述するとおりである。

1 業務実績の状況

主な業務実績は、表1のとおりである。

表1 主な業務実績

区 分	26年度 (A)	25年度 (B)	比較 増 減		
			(A) - (B)	増減率(%)	
石巻駅前 駐 車 場	年延利用台数(台)	79,581	182,213	△ 102,632	△ 56.3
	営業日数(日)	182	365	△ 183	△ 50.1
	1日平均利用台数(台)	437.3	499.2	△ 61.9	△ 12.4
	年間使用料(円)	5,252,575	11,423,100	△ 6,170,525	△ 54.0

※ 26年度は、平成26年4月1日から同年9月30日までの数値である。

2 決算収支の状況

決算収支の状況は、表2のとおりである。

予算現額5,767万円(前年度比3,520万1千円増)に対して、歳入歳出ともに5,550万9千円(前年度比3,305万円増、執行率96.3%)で決算されている。

表2 決算収支の状況

(単位：千円・%)

区 分	26年度 (A)	25年度 (B)	比較 増 減		
			(A) - (B)	増減率	
予 算 現 額	57,670	22,469	35,201	156.7	
歳入総額	収入済額	55,509	22,459	33,050	147.2
	執行率	96.3	100.0	△ 3.7	—
歳出総額	支出済額	55,509	22,459	33,050	147.2
	執行率	96.3	100.0	△ 3.7	—
歳入歳出差引額	0	0	0	—	
翌年度へ繰り 越すべき財源	継続費繰越額	—	0	0	—
	繰越明許費額	—	0	0	—
	事故繰越し額	—	0	0	—
実 質 収 支 額	0	0	0	—	

ア 歳 入

予算執行状況及び款別決算状況は、表 3、4 のとおりである。

予算現額 5,767 万円に対して、調定額、収入済額ともに 5,550 万 9,119 円で、執行率 96.3%、収入率 100.0%となっている。

収入済額は前年度と比較して 3,305 万 301 円（147.2%）増加している。

収入済額の内訳は、使用料及び手数料 525 万 2,575 円（駐車場使用料）、繰入金 5,025 万 6,544 円（公債費繰入金）である。

表 3 予算執行状況

(単位：円・%)

区 分	26年度 (A)	25年度 (B)	比 較 増 減	
			(A) - (B)	増減率
予 算 現 額	57,670,000	22,469,000	35,201,000	156.7
調 定 額	55,509,119	22,458,818	33,050,301	147.2
収 入 済 額	55,509,119	22,458,818	33,050,301	147.2
執 行 率	96.3	100.0	△ 3.7	—
収 入 率	100.0	100.0	0.0	—
不 納 欠 損 額	0	0	0	—
収 入 未 済 額	0	0	0	—

表 4 款別決算状況

(単位：円・%)

区 分	26年度		25年度		比 較 増 減	
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	(A) - (B)	増減率
1 使用料及び手数料	5,252,575	9.5	11,423,933	50.9	△ 6,171,358	△ 54.0
2 繰 入 金	50,256,544	90.5	11,029,977	49.1	39,226,567	355.6
3 諸 収 入	—	—	4,908	0.0	△ 4,908	皆減
合 計	55,509,119	100.0	22,458,818	100.0	33,050,301	147.2

イ 歳 出

予算執行状況及び款別決算状況は、表 5、6 のとおりである。

予算現額 5,767 万円に対して、支出済額 5,550 万 9,119 円で、執行率 96.3% となっており、不用額は 216 万 881 円である。

支出済額は前年度と比較して 3,305 万 301 円（147.2%）増加している。

支出済額の内訳は、駐車場事業費 169 万 6,339 円、公債費 5,381 万 2,780 円（元金 5,310 万 2,702 円、利子 71 万 78 円）である。

表 5 予算執行状況

（単位：円・%）

区 分	26年度 (A)	25年度 (B)	比較増減	
			(A) - (B)	増減率
予算現額	57,670,000	22,469,000	35,201,000	156.7
支出済額	55,509,119	22,458,818	33,050,301	147.2
執行率	96.3	100.0	△ 3.7	—
翌年度繰越額	0	0	0	—
不用額	2,160,881	10,182	2,150,699	ほぼ皆増

表 6 款別決算状況

（単位：円・%）

区 分	26年度		25年度		比較増減	
	決算額(A)	構成比	決算額(B)	構成比	(A) - (B)	増減率
1 駐車場事業費	1,696,339	3.1	3,928,034	17.5	△ 2,231,695	△ 56.8
2 公債費	53,812,780	96.9	18,530,784	82.5	35,281,996	190.4
合計	55,509,119	100.0	22,458,818	100.0	33,050,301	147.2

ウ 事業債の状況

事業債の状況は、表 7 のとおりである。

表 7 事業債の状況

（単位：円）

区 分	元 金	利 子	元 利 合 計
年度当初未償還額 (A)	53,102,702	2,489,650	55,592,352
当年度借入額 (B)	0	0	0
当年度償還額 [通常分] (C)	8,561,781	703,611	9,265,392
未償還額 (A)+(B)-(C)=(D)	44,540,921	1,786,039	46,326,960
繰上償還による利子の増減 (E)	—	△ 1,779,572	△ 1,779,572
繰上償還額 (F)	44,540,921	6,467	44,547,388
未償還額 (D)+(E)-(F)	0	0	0

※ 駐車場事業の廃止に伴い、未償還額は平成 26 年 9 月 22 日に繰上償還されている。

3 実質収支に関する調書

実質収支の状況は、次のとおりである。

実 質 収 支 の 状 況

(単位：千円・%)

区 分	26年度 (A)	25年度 (B)	比 較 増 減	
			(A) - (B)	増減率
歳 入 総 額	55,509	22,459	33,050	147.2
歳 出 総 額	55,509	22,459	33,050	147.2
歳入歳出差引額	0	0	0	—
翌年度へ繰り 越すべき財源	—	0	0	—
実 質 収 支 額	0	0	0	—

む す び

以上が平成26年9月30日で打切決算された平成26年度石巻市駐車場事業特別会計歳入歳出決算に係る審査結果である。

石巻駅前駐車場は、もともとは合併前の旧石巻市が石巻駅周辺の交通渋滞の緩和と市民の利便性向上を図るため、平成3年度に日本国有鉄道清算事業団から用地を購入し整備したものである。その後、石巻駅周辺整備計画に基づき、それまでの石巻駅前駐車場に代わり新たに整備する駅前駐車場の経理を明確にするため、平成8年4月1日から特別会計を設置し処理していたが、平成17年4月1日の1市6町の合併に際し旧石巻市の特別会計で経理されていた駅前駐車場と旧牡鹿町の一般会計で経理されていた鮎川南立体駐車場の管理運営に係る会計として、改めて特別会計を設置したものである。

その後、鮎川南立体駐車場については、平成23年3月11日の東日本大震災により甚大な被害を受け長らく休業していたが平成25年12月24日に正式に廃止され、それ以降は石巻駅前駐車場のみで営業をしていた。

しかしながら、東日本大震災で被災し現地での再建が困難となった石巻市立病院が石巻駅前駐車場に再建されることに伴い、平成26年9月30日までの営業で石巻駅前駐車場が廃止され、石巻市駐車場条例そのものも廃止された。

このような経過から、平成26年度石巻市駐車場事業特別会計も年度途中の平成26年9月30日をもって打切決算されたものである。

なお、石巻駅前駐車場の廃止に伴い、平成8年度に借り入れた駐車場整備事業債は、平成26年9月22日に未償還額を全額繰上償還している。

また、石巻駅前駐車場の用地は、廃止の翌日から普通財産として管理されているが、今後、石巻市病院事業会計へ受贈財産として引き継がれる予定となっている。